

第 2 回 神戸圏域地域医療構想調整会議 地域包括ケア推進部会 議事要旨

1. 日 時 平成 29 年 8 月 30 日（水）13：30～15：30

2. 場 所 三宮研修センター

3. 議事内容**【専門部会の設置について】**

- ・「介護予防」、「医療介護連携のあり方」、「在宅療養者の服薬管理のあり方」、「看取り支援」の各専門部会の概要、現状及び課題、主な検討項目の説明
- ・各専門部会の座長、構成員、アドバイザーの説明

【地域医療介護総合確保基金事業にかかる意見・提案】

- ・新規事業 16 件、過年度採択事業 4 件、合計 20 件の説明・意見聴取

4. 主な意見**【専門部会の設置について】**

- 4 つの専門部会については良いことなので、ケアマネ連絡会としても協力させていただく。提案だが、あんすこセンターの職員が介護予防に積極的に取り組まれているので、介護予防専門部会の委員に入っていたらどうか。また、医療介護サポートセンターの役割が重要視されており、サポートセンター職員も積極的に取り組まれているので、医療介護連携のあり方専門部会の委員に入っていたらどうか。
- 本来、介護予防を進めるには地域住民が主体性を持つべきだと思うが、神戸市ではまだ少ない。西区でいきいき百歳体操の指導をコミュニティの中に入り込んでやっているが、効果が出てきている。地域住民がいきいき百歳体操を通じて介護予防に取り組み、そして友達をつくったり生きがいを見つけたりして、本当の意味において温かい社会を作ることが大変重要である。
- 医療介護連携のあり方専門部会の課題 5 つ目で、「看護師のサマリーに必要情報が記載されていない」とある。リハ職に関しては、患者が在宅に帰る際、病院でリハを担当した者が、ケアマネやデイケア・デイサービスの担当者等にリハの目標や運動機能などは情報提供するが、障害の理解度や介助する際に気をつけるべきことなど、在宅で診るときに本当に必要な情報が提供されていないとよく言われている。リハ職が必要な情報を提供しているかという点もしっかり議論していただきたい。
- 患者が老健へ移る際、医師や看護師がサマリーを書くが、病院のサマリーとしては通用しても、もらう側に必要な情報が書いていない。もらう側を優位に考えて書いていただきたい。必要な内容をできるだけ数値化してもらうことが必要ではないか。
- 専門部会で話し合っ、人の問題と財源をどう担保されるのか。新しい提案をしても果たして実行可能なのか、ということを懸念している。
- 4 つの専門部会すべてについてお願いしたいが、例えば医療介護連携のあり方専門部会の 1 つ目の課題は、「問題」であって、この背景に見え隠れしているものが「課題」なのではないか。また「連携のための統一様式が作成できていない」とあるが、当初から連携が必要と言っているのに、作ってこられなかった背景にはどんな問題があるのか。そういっ

たことを含めて検証し、実効ある内容にしていきたい。

- 医師会と病院協会で作った患者のシートがあるが、電子カルテに取り込めない。すべて電子カルテに取り込めることを基本にしていきたい。バイタルリンクは介護にとっては非常にいいが、これを医療にどう取り込むかは問題点。将来的には1患者1IDで全て統一したいが、前段階で可能な限り電子化して情報共有できるようにしていきたい。
- 精神・神経に関わる専門医、精神科以外の脳神経外科や神経内科の専門医も専門部会に必要ではないか。
- 対象となる人は高齢者が中心だが、ソーシャルインクルージョンが大きな問題になっているので、障害者も含めすべての住民を対象とすべき。当部会の事務局メンバーにも障害者関係部局を入れるべき。

【地域医療介護総合確保基金事業にかかる意見・提案】

- 神戸市提案のICTの活用について、具体的にはコーディネーターが活用するのか。従来のシステムとの整合性はどうなっているのか。初めて聞いた話なので医師会の会議で詳しく説明していきたい。
- 基金事業として提案が通っても、初期費用のみでメンテナンス費用は出ないことが多く、作ったものの使われていないという事例が各地である。そのため医師会ではバイタルリンクに積極的ではない。事業提案されるなら医師会に事前説明をしていただきたいかった。

【その他】

- 調剤薬局は処方箋しか情報がないので、ICTをうまく使って患者情報を共有できたらいいと思う。部会でしっかり議論していきたい。また、薬剤師が在宅に入る意義がまだ理解されていないので服薬支援のあり方についても部会で議論していきたい。
- 地域包括ケアシステムが推進されているが、地域住民は知らないので丁寧に説明していかないといけない。
- 老健施設は介護人材が集まらず人手的に困っている。

地域医療構想調整会議 地域包括ケア推進部会 構成員一覧

別紙

	健康寿命延伸のための 「介護予防」専門部会	医療介護連携の あり方専門部会	在宅療養者の服薬管理の あり方専門部会	看取り支援専門部会
座長	千葉大学 近藤教授	北医療監	中央市民病院 橋田薬剤部長	神戸市医師会 中村理事
市医師会	肱黒 泰志	是則 清一	奥知 博志	松岡 泰夫
市歯科医師会	豊後 孝敏	本庄 健一	登利 佳央	橋本 猛央
市薬剤師会	安田 理恵子	宮内 智也	小塚 ひとみ 山本 智史	高見 良子
市民間病院協会		吉田 寛	古瀬 繁	前田 雅道
兵庫県看護協会	松本 多津子	福田 陽子	田中 明子	大路 貴子
兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会		藤田 愛	加藤 美奈子	松本 京子
市ケアマネジャー連絡会	鶴本 和香 (あんしんすこやかセンター)	庄村 欣也 (居宅介護支援事業所)	山田 恵美子 (居宅介護支援事業所)	河井 眞知子 (居宅介護支援事業所)
市老人福祉施設連盟				重光 雄明 (特別養護老人ホーム)
神戸介護老人保健施設協会				堤 裕紀恵 (介護老人保健施設)
兵庫県介護福祉士会		中口 明克 (サービス付き高齢者向け住宅)	林 洋子 (訪問介護事業所)	
兵庫県社会福祉士会			段 真奈美 (あんしんすこやかセンター)	
神戸市リハ職種地域支援協議会	山本 克己 (兵庫県理学療法士会)			
兵庫県栄養士会	榊 由美子			
兵庫県歯科衛生士会	上原 弘美			
神戸在宅医療・介護推進財団		中野 悦子		
アドバイザー	東京大学 飯島教授	東京大学 飯島教授		
その他				